

サイゴン東西ハイウェイ建設計画（第二期）【ベトナム】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 平成 24 年 3 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	ベトナム
(2) 案件名	サイゴン東西ハイウェイ建設計画（第二期）
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	同国における商工業の中心であるホーチミン市において, サイゴン渡河トンネルを含む東西方向の幹線道路を建設することにより, 同市の交通事情を改善するとともに, 周辺地区の生活環境の改善, サイゴン川東岸地域の都市開発に寄与するもの。 案件の内容 ・ 土木工事 ・ 資機材調達 ・ コンサルティングサービス ア 閣議決定日：平成 14 年 3 月 26 日 イ 供与限度額：109.26 億円 ウ 金利：1.80%/0.75% エ 償還（据置）期間：30（10）年/40（10）年 オ 調達条件：一般アンタイド/二国間タイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会的ニーズの現状 事業計画時（13 年度（2001 年度）），平成 8 年（1996 年）から平成 32 年（2020 年）の間に市内 1 日あたりの交通量は 2.7 倍, ピーク時間帯の交通量は 3 倍に増加すると予測されていた。 平成 8 年（1996 年）から平成 23 年（2011 年）の間には, 同市における四輪車登録台数は 5 倍に増加している。 同市内においては, 特に東西方向に流れる交通量が最も多く, サイゴン川を渡り都心部と市の北東方向の出口部とを結ぶ既存のサイゴン橋 1 本に交通が集中していることから, 市内中心部を東西方向に結ぶ幹線道路を建設する本事業に関する社会的二一

	ズは引き続き大きい。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 調達手続及び施工に伴う遅延が発生したが、現在、平成 23 年（2011 年）11 月に本件道路は既に全線開通しており、事業は順調に進められている。
（２）今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズは引き続き大きく、事業遅延の要因は解消され、また、事業完成後は当初の見込みどおりの効果が予測されることから、引き続き支援を継続していく。
３ 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index/anken/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構のプレスリリース (http://www.jica.go.jp/press/index.html) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ その他国際協力機構から提出された資料